



2026年度中期経営計画

エネルギー事業本部

2024年5月23日

I	事業概要	P. 3
II	2023年度中期経営計画振り返り	P. 6
III	2026年度中期経営計画	P. 8
	市場動向	
	事業方針・事業計画	
	重点施策（詳細）	
	設備投資・研究開発	

I 事業概要

クリーンなエネルギーの安定供給、最適化、安定化に貢献

発電プラント（※国内 62% / 海外 38%）

世界シェア 1位※



地熱発電設備

国内シェアトップ
グループ



水力発電設備

器具（※国内 74% / 海外 26%）

国内シェア 1位※



電磁開閉器

国内シェア 2位※



高圧真空遮断器

国内シェア 2位※



配線用遮断器

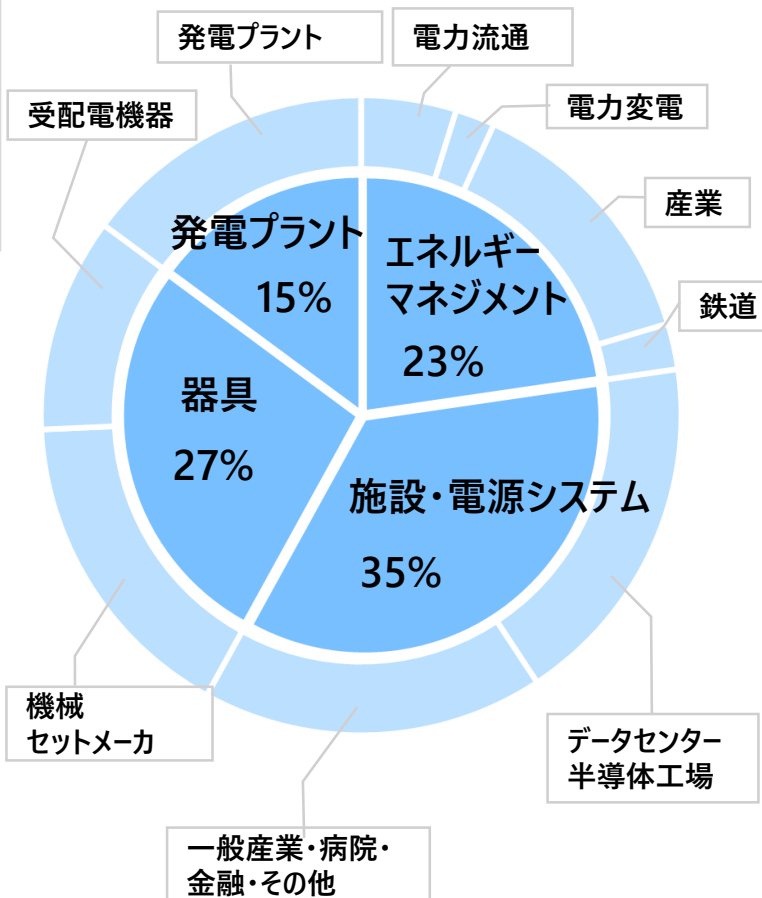
国内シェア 2位※



コマンドスイッチ

売上高（2023年度実績）

3,428億円（※国内 65% / 海外 35%）



エネルギー・マネジメント（※国内 75% / 海外 25%）



太陽光発電
システム



エネルギー・マネジメント
システム（EMS）



パワー・コンディショナ
（蓄電PCS）



（大容量整流器）
産業電源



（大容量変圧器）
電力変電



（受変電設備）
産業変電

施設・電源システム（※国内 55% / 海外 45%）

国内シェアトップ
グループ



無停電電源装置
（UPS）

国内シェアトップ
グループ



モールド変圧器



電機盤

※シェアは2023年度実績、当社推定
※売上構成比は2023年度実績。
セグメント間の内部取引等を消去・調整する前の金額に基づき算出。

発電
プラント

地熱発電



世界シェア
No.1

水力発電



国内シェア
トップGr.

豊富な納入実績と高度な
エンジニアリング力

エネルギー
マネジメント

大容量整流器



世界シェア
トップGr.

受変電設備・蓄電PCS



各種製品の豊富な納入実績と
高度な系統安定化技術

施設・電源
システム

無停電電源装置
(UPS)



DC向け国内
シェアトップGr.

モールド変圧器



国内シェア
トップGr.

電気設備まるごとビジネスに
より受変電関連機器を
パッケージで供給可能

器具

電磁開閉器



国内シェア
No.1

配線用遮断器

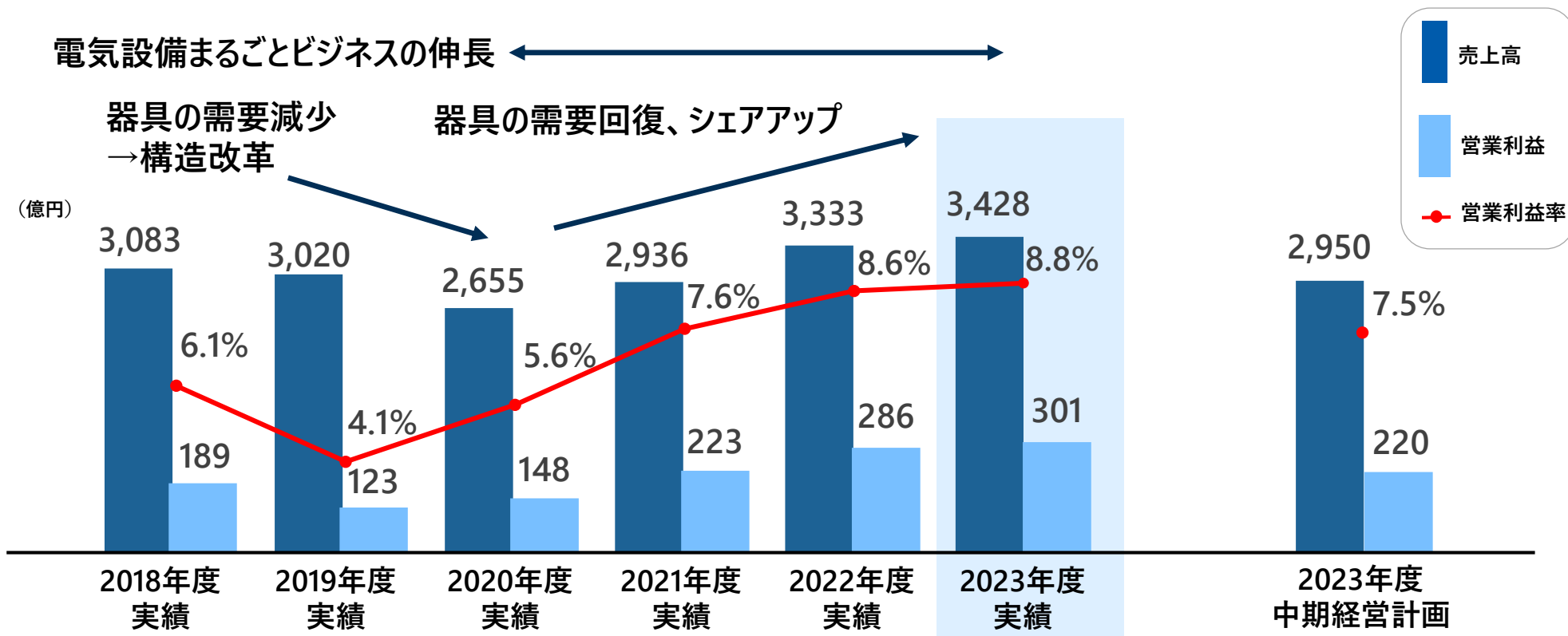


国内シェア
No.2

高品質と豊富な
製品ラインナップ

Ⅱ 2023年度中期経営計画振り返り

国内外でのIDC等を中心とする活況な設備投資等を背景に、中期計画値を上回る



成 果

- 外資IDC・半導体関連顧客の継続受注
- ものづくり強化（標準化、内製化、生産合理化）
- 器具事業の収益体質強化

課 題








- 海外事業の拡大
- 新製品の上市遅れ
- 国内受配電および海外市場への拡大（器具）

※ 2023年度の事業組替を反映した数値

III 2026年度中期経営計画

事業分野

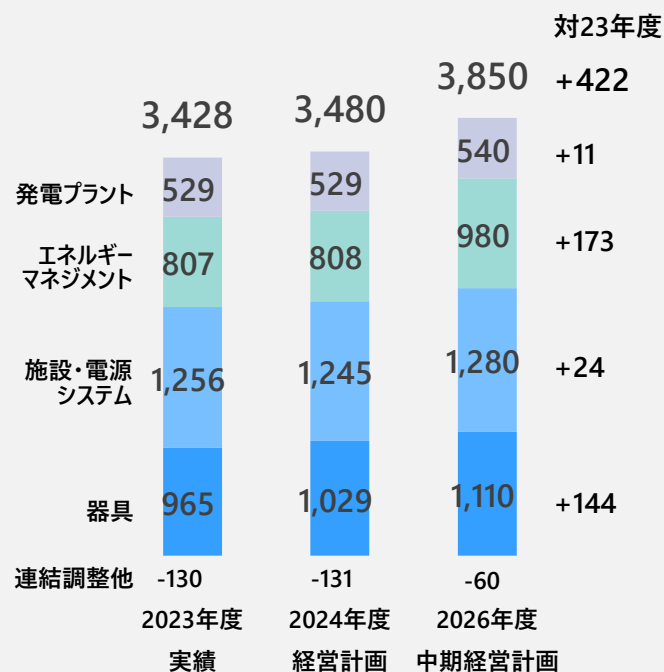
市場動向（2024年度～2026年度）

プラント・システム	発電プラント	地熱・水力	<ul style="list-style-type: none"> ・地熱：環太平洋諸国など地熱開発国でも需要継続 ・水力：老朽化設備のS&B需要継続、揚水の検討が活発化 	
	エネルギー・マネジメント	エネマネ	<ul style="list-style-type: none"> ・再エネ拡大による系統安定化（蓄電システム）のニーズ拡大 ・地域マイクログリッドを検討するエリア増加 	
		電力・一般産業	<ul style="list-style-type: none"> ・高度成長期の納入機器の更新需要の継続・拡大 ・既存生産プロセスの脱炭素化(電化・燃料転換)に向けた需要拡大 	
		再エネ	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模太陽光システムは減少 ・需要家やPPAの小中規模太陽光は増加 	
	施設・電源システム	データセンター 半導体工場	<ul style="list-style-type: none"> ・IDC：生成AI普及拡大を背景に外資系IDC事業者の進出は拡大継続 ・半導体:国内製造基盤の確保・強化継続、海外での大型投資継続 	
コンポーネント	器具	機械セットメーカー	<ul style="list-style-type: none"> ・工作機械・ロボット・半導体製造装置等の需要は24年度後半から拡大 	
		受配電	<ul style="list-style-type: none"> ・IDCや工場建設などの需要が堅調に推移 	

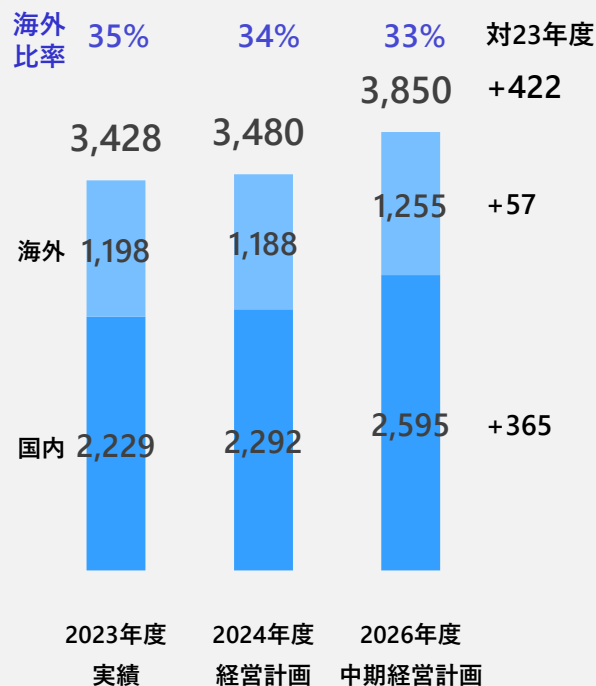
事業方針

◆エネルギーの安定供給、最適化、安定化への貢献に向けた重点施策を展開

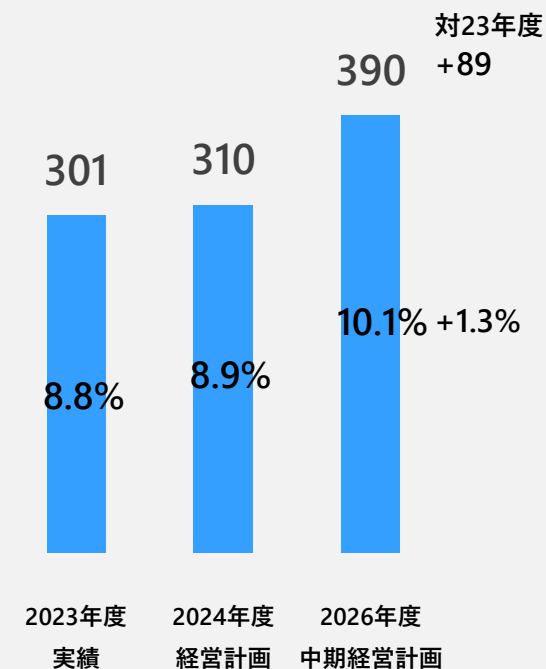
サブセグメント別売上高（億円）



国内・海外売上高（億円）



営業利益・営業利益率（億円）



発電 プラント

- ・再エネビジネスとサービス事業の拡大

エネルギー マネジメント

- ・競争力のある製品開発とエンジニアリングでシステム事業拡大

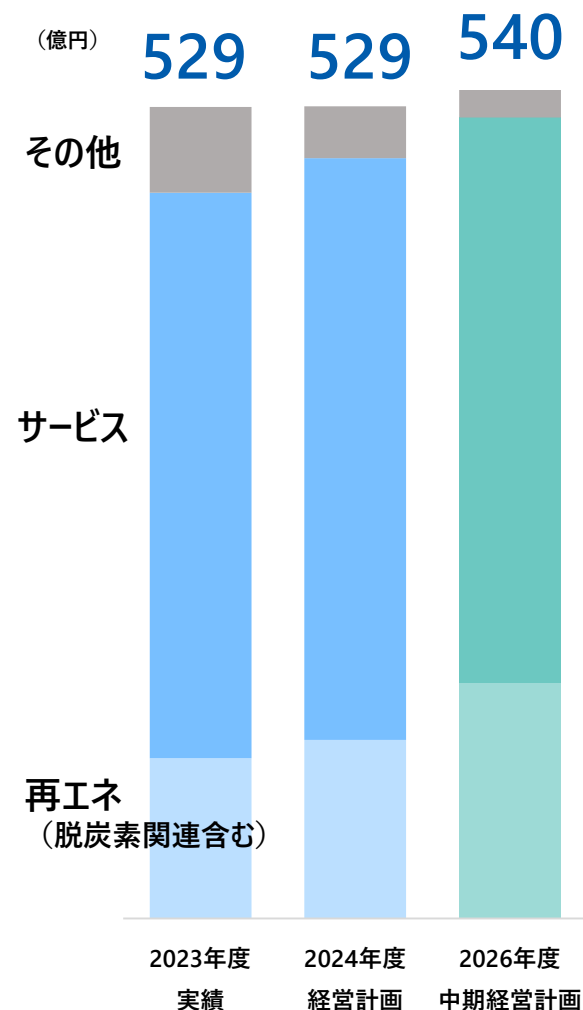
施設・電源 システム

- ・国内外IDC・半導体分野での事業拡大

器 具

- ・基幹機種刷新の推進によるプレゼンス拡大
- ・物量変動に強い利益体制構築

発電プラント分野の売上高推移



現行領域

長期脱炭素電源オークション案件を含む脱炭素・再エネビジネス拡大

- ・ 地熱分野での取り組み領域の拡大
 - 容量帯拡充による拡販
 - 新商材・機能開発の促進
- ・ 揚水発電を含む水力ビジネスの拡大

サービスの伸長に向けた商材・提案強化

- ・ 診断技術、発電周辺機器、補修の拡充などの提案強化
 - 電力需給ひっ迫に伴う設備信頼性向上ニーズへの対応
 - 設備稼働率改善に向けた劣化診断・余寿命診断

新領域

新領域での製品競争力強化

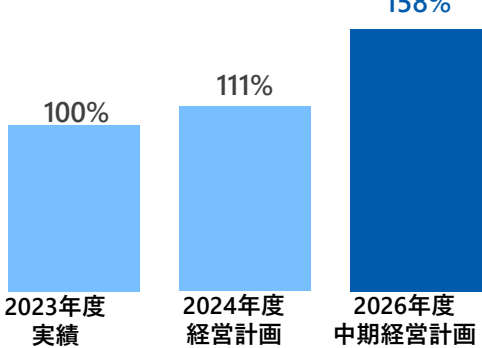
- ・ 燃料転換（アンモニア、水素）、水素燃料電池、蓄エネ向け設備

成長領域

エネマネ：再エネ関連まると提案の強化

商材：分野別EMS機能の拡充、蓄電池制御システムの標準プラットフォーム化
アライアンス：蓄電池メーカー、PPA事業者との協力関係強化

エネマネ 売上推移※



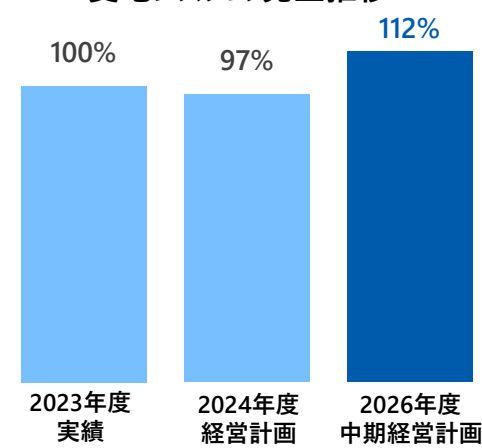
まると提案



成長領域

変電システム：新製品の早期市場投入による事業拡大（GX関連、環境貢献製品、グローバル商材）

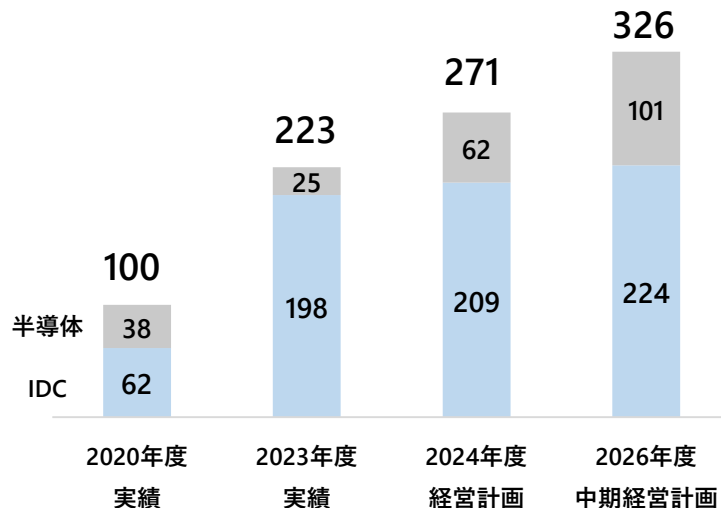
変電システム 売上推移※



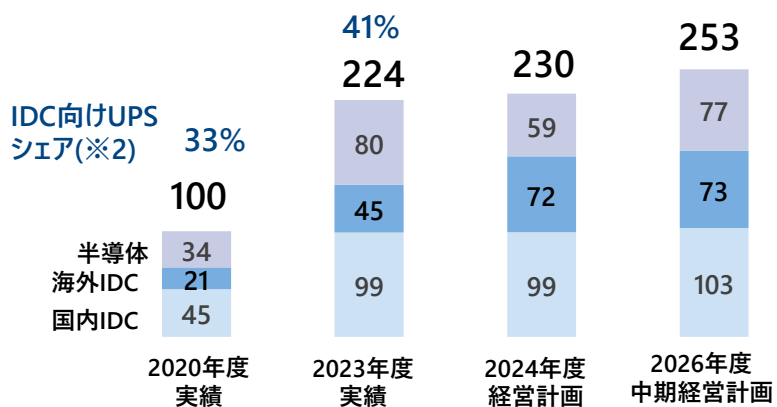
開発スケジュール	機 種	2023	2024	2025	2026
	グローバル変圧器	開 発		高耐熱化技術の開発	
	グローバルGIS	開 発		開 発（特高）	
	ドライエア開閉装置 （SF6ガスレス）	開 発（C-GIS）			単体VCB開発
		GIS開発			
	新JIS/IEC 配電盤	開 発（高圧）			開発（特高）
	水素製造 装置用電源	開 発（並列）			開 発（直列）

※2023年度実績を100とした場合の売上高推移

< IDC・半導体向け受注高推移 (※1) >




< IDC・半導体向け売上高推移 (※1) >



成長領域

IDC・半導体分野での受注拡大

市場ニーズを見据えた新製品の開発推進

開発スケジュール	機 種		2023	2024	2025	2026
	長寿命UPS	 <div>新中容量 UPS (6600FX)</div> <div>超大容量UPS (7500WX)</div> <div>モールド変圧器</div>	開 発			
	次世代UPS		開 発			
	海外向け モールド変圧器		開 発			
	第3世代 トップランナー 変圧器		開 発			

現行領域

サービス拡大に向けた体制強化

年間保守契約・業務効率化メニューの創出

- ・ 保守メニュー拡充、保守対象範囲(特高変電等)拡大
- ・ DX、IoTの活用による保守業務の効率化推進

※1：2020年度実績を100とした場合の受注高・売上高推移

※2：<出典>富士キメラ総研「データセンタービジネス市場調査総覧」
2021年度版の2020年度シェア、2024年度版の2023年度シェアより

基幹機種刷新の推進によるプレゼンス拡大、物量変動に強い利益体制構築

現
行
領
域

基幹機種刷新の推進、効果の刈り取り

- ・新形電磁開閉器の拡販・切換えによる原価低減効果の刈取り

小中容量電磁開閉器のモデルチェンジによる製品競争力強化

- 制御盤・配電盤の小形化に貢献（最大▲30%※の横幅寸法）
- 装置の省エネを実現（最大▲73%※のコイル消費電力）

※当社現行品比

- ・新形配線用遮断器の開発・上市

→国内・アジアでのIDC、受配電市場、半導体製造装置分野への拡販



完成形を、超えていく。

Before, NEXT, Future.

SC-NEXT

新
領
域

新領域での新製品開発

- ・直流配電関連機器の開発

柔軟で強靱なものづくり、サプライチェーンの確立

- ・機種ごとの生産拠点集約・効率化
- ・調達マルチソース化による物量変動に強いサプライチェーンの構築
- ・地設機能構築の推進（顧客対応の実施）

重点施策 ものづくり拠点

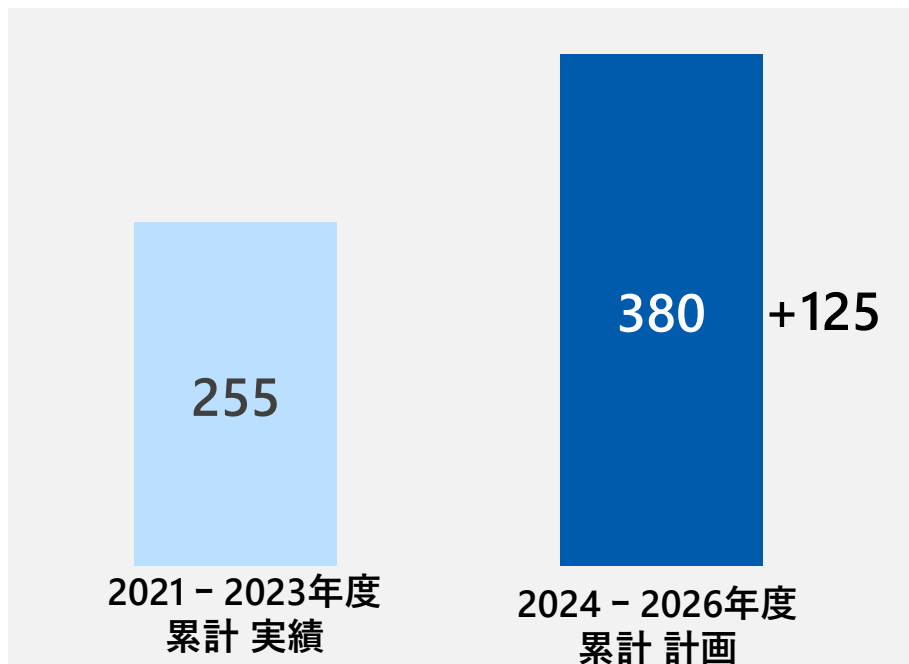
高操業が継続、グローバルで最適な生産体制を構築し、国内・外での競争力強化を目指す
環境対応製品の生産拠点として製品群の強化を図る



※PDU：パワーディストリビューションユニット GIS：ガス絶縁開閉装置

※ FSMBE：富士SMBE社 FMT：富士電機マニュファクチャリング(タイランド)社 FTU：富士タイコ社 FEDAC：富士電機大連社 CSFE：常熟富士電機社

設備投資（億円）



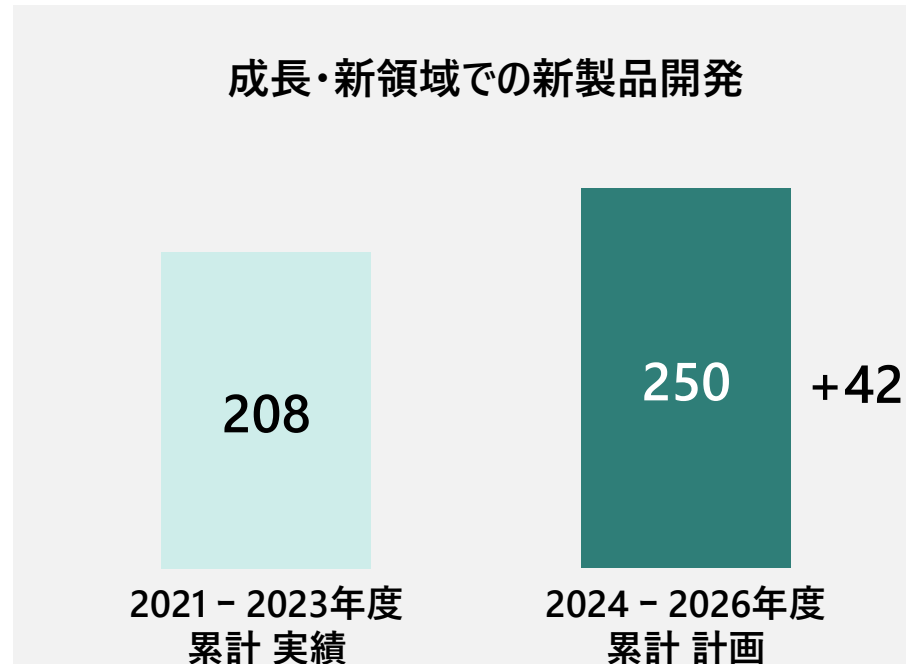
■ エネルギーマネジメント

- ・開発試験設備の導入

■ 器具

- ・器具新製品の生産設備の導入

研究開発（億円）



■ 発電プラント・エネルギーマネジメント

- ・脱炭素、環境貢献対応商材
（蓄電池システム、EMS、ドライア開閉装置
水素燃料電池、水素製造装置用電源）
- ・グローバル商材
（変圧器、モルトラ、GIS、S-PCS、電機盤）

■ 施設・電源システム

- ・長寿命UPS / 次世代UPS系列拡大

1. 本資料及び本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。